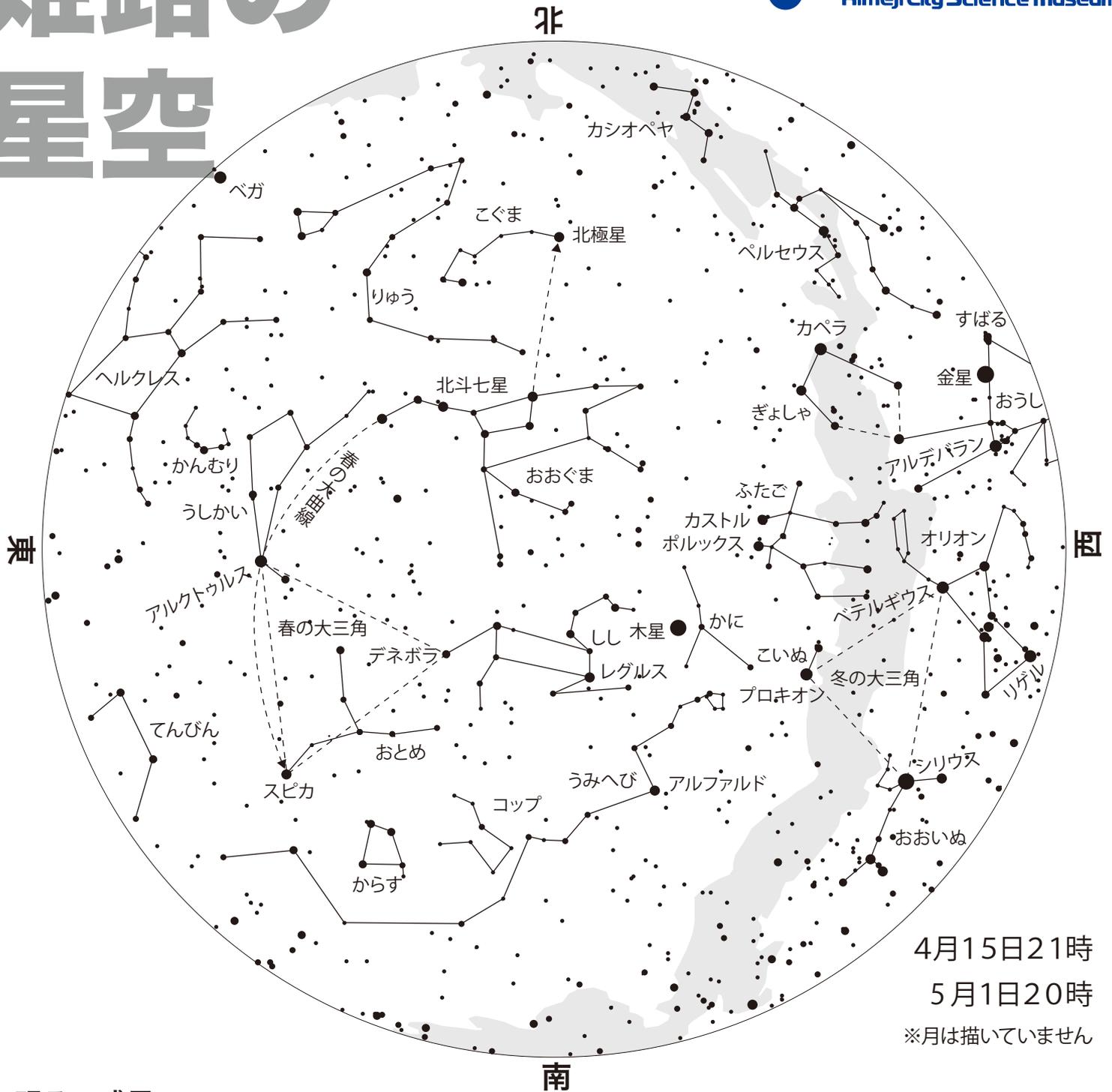


# 姫路の 星空



4月15日21時

5月1日20時

※月は描いていません

## 明るい惑星

日没後の空に金星と木星が明るさを競っています。

## 冬の星 (西の空)～冬の三大角とオリオン座を目印に

冬の星が西に沈みつつありますが、冬の三大角を作るおおおいぬ座のシリウス (全天一明るい恒星)、こいぬ座のプロキオン、オリオン座の肩の星ベテルギウスはまだ目立ちます。オリオン座のリゲルやおうし座のアルデバランはそろそろ見納めです。北西の空ではぎよしゃ座のカペラが目立ち、西の空にはふたご座のカストルとポルックスがならびます。

## 春の星 (西の空以外)

北東の空高く北斗七星が見えます。ひしゃくの器の先の2つの星は北極星を探すいい目印です。ひしゃくの柄はおおぐま座のしっぽにあたり、これを伸ばして春の大曲線をたどると、うしかい座のアルクトゥルス (アークトゥルス) とおとめ座のスピカが見つかります。南の空高く、しし座も見えています。胸に輝く1等星はレグルスです。しっぽの星デネボラとアルクトゥルス、スピカを結ぶと春の三大角です。